

4 章点検結果

4.1 点検結果一覧表

今回点検の結果と過年度結果を対比し以下の表に示す

表 4.1.1 点検結果一覧表(1)

番号	(ワカナ) 道路橋名	過年度結果						今回結果						備 考
		健全度 (判定区分 I ~ IV)			損傷種類	健全度 (判定区分 I ~ IV)			損傷種類	備 考				
		道路橋毎		部材単位		道路橋毎		部材単位						
1	イハラオオハシ 樺原大橋	II	床版に遊離石灰の伴うひびわれ、下部工にひびわれが見受けられた。損傷の進行を防止するため、漏水対策を含めた予防保全が望まれる。	上部構造	主桁	I	II	横桁端部に腐食が発生している。床板、下部工、地覆部に遊離石灰を伴うひびわれが見受けられ、今後の進行が懸念される。構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	上部構造	主桁	I	ひびわれ、遊離石灰		
					横桁	I				腐食				
					床版	II				漏水・遊離石灰	床版		II	
				下部構造	II	ひびわれ			下部構造	II	ひびわれ、遊離石灰			
				支承部	I				支承部	I				
				その他	II	欠損、漏水・滞水			その他	II	ひびわれ、遊離石灰、欠損			
				2	ワカダイホウキョウ 若葉台歩道橋	II			構造物の機能に支障は生じていないが予防保全の観点から措置を講ずる。	上部構造	主桁		I	III
横桁	I	腐食												
床版	II	腐食	床版				II							
下部構造	I		下部構造				I							
支承部	II	支承の機能障害	支承部				III	支承の機能障害						
その他	II	高欄の腐食	その他				III	腐食、舗装の剥離						
3	フキハオオハシ 福貴畑大橋	II	下部工にひびわれ(w=1.0mm)が見受けられた。損傷の進行を防止するため、予防保全が望まれる。				上部構造	主桁		I	II	アーチクラウン部にひびわれ、支柱に複数の鉄筋露出が見られる。下部工に鉄筋露出、伸縮部に漏水が見られる。構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	上部構造	
				横桁										
				床版	I	床版		I						
				下部構造	II	ひびわれ	下部構造	II	ひびわれ、鉄筋露出					
				支承部	I		支承部	I						
				その他	II	漏水・滞水	その他	II	漏水、土砂堆積					
				4	モリキハシ 森脇橋	III	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。	上部構造	主桁	III			II	前回点検から一部補修が行われている。床版に遊離石灰、下部工に鉛直方向のひびわれが見られる。構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。
横桁	II	腐食												
床版	III	漏水・遊離石灰	床版						II	遊離石灰				
下部構造	II	ひびわれ	下部構造					II	ひび割れ					
支承部	III	腐食	支承部					I						
その他	I		その他					I						
5	ニシナモトハシ 西梨本橋	II	主桁、床版に遊離石灰が見受けられる。損傷の進行を防止するために予防保全が望まれる。					上部構造	主桁	II	II	主桁、床版に遊離石灰が見られる。路面に凹凸(45mm)が見られる。構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。		
				横桁	I									
				床版	II	漏水・遊離石灰	床版		II	遊離石灰				
				下部構造	I		下部構造	I						
				支承部	I		支承部	I						
				その他	II	路面の凹凸	その他	II	路面の凹凸					

表 4.1.1 点検結果一覧表(2)

番号	(フカナ) 道路橋名	過年度結果				今回結果				備 考		
		健全度 (判定区分 I ~ IV)		損傷種類	健全度 (判定区分 I ~ IV)		損傷種類					
		道路橋毎	部材単位		道路橋毎	部材単位						
6	ヤクシハン 業師橋	II	床版に漏水遊離石灰、下部工にひびわれが見受けられた。損傷の進行を防止するため、漏水対策を含めた予防保全が望まれる。	上部構造	主桁	I	II	床板間詰部に遊離石灰、下部工にひびわれが見られる。構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	上部構造	主桁	I	
				横桁					横桁			
				床版	II	漏水・遊離石灰			床版	II	漏水・遊離石灰	
				下部構造	II	ひびわれ			下部構造	II	ひびわれ	
				支承部	I				支承部	I		
				その他	II	漏水・滞水			その他	II	漏水跡	
7	キタダイゴウキョウ 菊美第3号橋	II	主桁に剥離・鉄筋露出が見受けられた。損傷の進行を防止するため、予防保全が望まれる。	上部構造	主桁	II	II	主桁に鉄筋露出、P3橋脚に伸縮部からの漏水が見られる。構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	上部構造	主桁	II	鉄筋露出
				横桁	I				横桁	I		
				床版	I				床版	I		
				下部構造	I				下部構造	I		
				支承部	I				支承部	I		
				その他	II	漏水・滞水			その他	II	漏水	
8	ワカバオハン 若葉大橋	III	主桁、下部工、支承に腐食が見られる。早期に措置を講ずべき状態。	上部構造	主桁	II	II	前回点検から一部補修が行われている。床版に鉄筋露出、遊離石灰を伴うひびわれが複数見られ、進行が懸念される。構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	上部構造	主桁	I	鋼材の再塗装、舗装補修済み
				横桁	I				横桁	I		
				床版	II	床版ひびわれ			床版	II	鉄筋露出、遊離石灰、ひびわれ	
				下部構造	II	ひびわれ			下部構造	II	ひびわれ	
				下部(橋脚)	II	腐食			下部(橋脚)	I		
				支承部	III	腐食			支承部	I		
				その他	II	路面の凹凸			その他	I		
9	シツバキオハン 新橋木大橋	III	主桁、横桁、支承に板厚減少の伴う腐食が見受けられるため、早期の措置を講ずることが望まれる。	上部構造	主桁	III	I	前回点検から補修が行われている。鋼材の塗装に鉛が含まれているため全面的に剥離・再塗装されている。舗装工及び橋面防水工が施工されていないため劣化状況に応じて施工されるのが望ましい。	上部構造	主桁	I	点検は補修後に行った。伸縮装置交換直後のため下部工に滞水が残っているが時間経過とともに乾燥すると考えられるため橋梁の損傷度は1とした。
				横桁	II	腐食			横桁	I		
				床版	II	剥離・鉄筋露出			床版	I		
				下部構造	II	ひびわれ			下部構造	II	滞水	
				支承部	III	腐食			支承部	I		
				その他	II	漏水・滞水			その他	I		

4.2 各橋梁の損傷点検結果

4.2.1 櫛原大橋

過年度成果では耐候性鋼材に安定錆が発生しており主桁や横桁の判定はIであった。

しかし、今回点検において伸縮装置の劣化部からの漏水による桁端部の横桁に腐食が見られた。



調書写真 95 より



調書写真 100 より

橋面には舗装のひび割れ(線状、亀甲状)やポットホールが確認された。

過年度点検において確認されたポットホールは補修されたものも見られたが、再劣化している。

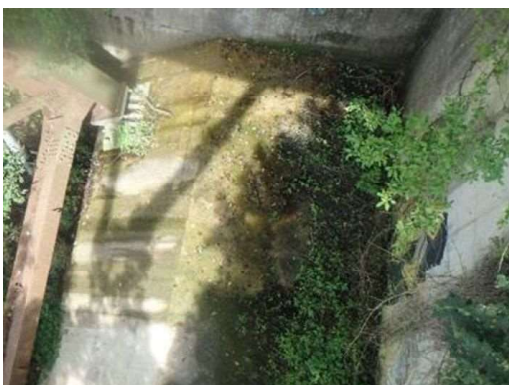


調書写真 57 より

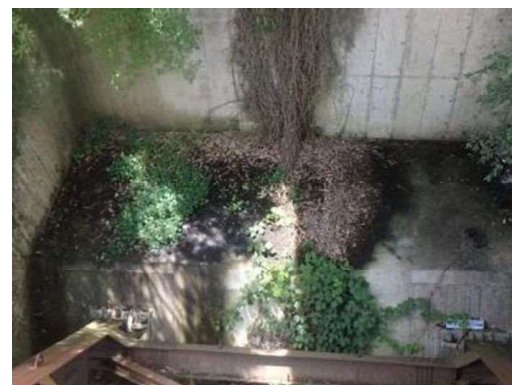


調書写真 60 より

過年度の点検においては下部工の点検にロープアクセスが用いられていたが、今回は採用を見送っているため点検車からの遠望撮影としている。



調書写真 40 より



調書写真 74 より

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	34° 38' 27.96" 135° 40' 43.68"	橋梁ID
櫛原大橋 (フリガナ) イチハラオオハシ	西山麓線	生駒郡平群町大字櫛原				34.64110,135.67880
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
平群町	2021.08.26	河川	無	一般道	その他	無

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検時に記録		応急措置後に記録		定期点検者		(株)エルクコンサルtant	
部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日	
上部構造	I						
主桁	II	腐食	写真1,横桁03(3径間)				
横桁	II						
床版	II	遊離石灰、床板ひびわれ	写真2,床板04(1径間) 写真3,床版05(2径間)				
下部構造	II	ひびわれ、遊離石灰	写真4,下部工01(1径間)				
支承部	I						
その他	II	ひびわれ、遊離石灰 欠損	写真5,地覆(1径間) 写真6,排水管01(2径間)				

道路橋毎の健全性の診断(判定区分I~IV)

定期点検時に記録	
(判定区分)	(所見等)
II	横桁端部に腐食が発生している。床板、下部工、地覆部に遊離石灰を伴うひびわれが見受けられ、今後の進行が懸念される。構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
2002	95.0 m	8.3 m
橋梁形式		
3径間連続鋼桁橋 1桁(不明)ラーメン橋 重力式橋台2基		

起点側



終点側

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

別紙2 様式1様式2
 状況写真(損傷状況)
 ○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真に記載のこと。
 ○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

<p>写真1</p>  <p>上部構造(横桁)【判定区分: Ⅱ】</p>	<p>写真2</p>  <p>上部構造(床板)【判定区分: Ⅱ】</p>
<p>写真3</p>  <p>上部構造(床板)【判定区分: Ⅱ】</p>	<p>写真4</p>  <p>下部構造(横桁)【判定区分: Ⅱ】</p>
<p>床板05(2径間)</p>	<p>下部工01(1径間)</p>

別紙2 様式1 様式2
 状況写真(損傷状況)
 ○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。
 ○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

<p>写真5</p> <p>その他【判定区分: Ⅱ】</p>  <p>地覆(1径間)</p> <p>【判定区分: 】</p>	<p>写真6</p> <p>その他【判定区分: Ⅱ】</p>  <p>排水管01(2径間)</p> <p>【判定区分: 】</p>
<p>【判定区分: 】</p>	<p>【判定区分: 】</p>

4.2.2 若葉台歩道橋

A2 橋台の支承部が過年度点検においてⅡ判定となっているがボルトの破断や抜けなどⅢ判定に近いⅡ判定である。今回調査ではⅢ判定とした。

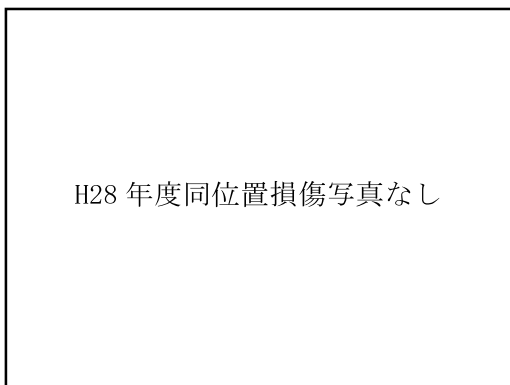


H28 年度調書写真 24 より



調書写真 49 より

橋面舗装については1径間と2径間にある踊り場の舗装の損傷が増加している。



H28 年度同位置損傷写真なし



調書写真 35 より

高欄の裾隠しは過年度点検と同様に減肉を伴う腐食がみられるが著しい進展は見られない。




H28 年度調書写真 28 より



調書写真 33 より

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	橋梁ID	
若葉台歩道橋 (フリガナ)ワカバダイホドウキョウ	若葉台3号線	生駒郡平群町若葉台		34° 38' 13.27" 135° 41' 35.25"	34.63702,135.69313	
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	
奈良県生駒郡平群町 都市建設課	2021.08.11	市町道	有	一般道	その他	
部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入) 定期点検時に記録						
部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	I	主桁				
	I	横桁				
	II	床版	写真1,床板01(2径間)			
下部構造	I					
支承部	III	支承の機能障害	写真2,支承201(3径間)			
その他	III	腐食、舗装の剥離	写真3,高欄(3径間) 写真4,路面01(1径間)			
道路橋毎の健全性の診断(判定区分I~IV) 定期点検時に記録						
(判定区分)	III	(所見等) 床板(蹴上)に孔食を伴う腐食が見られ、支承部、高欄にも板厚減少を伴う腐食が見られる。舗装に剥離が生じており、今後の進行が懸念される。道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。				
全景写真(起点側、終点側を記載すること)						
架設年次	不明	橋長	17.0 m	幅員	1.9 m	
橋梁形式 鋼橋-桁橋,その他橋台/橋脚(形式不明),直接基礎						
						
			起点側			
			終点側			

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	34° 38' 12.88" 135° 40' 36.76"	橋梁ID
福貴畑大橋 (フリガナ)フキハタオオハシ	西山麓線	生駒郡平群町大字福貴畑				34.63691,135.67688
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
平群町	2021.08.25	河川(灰田川)	有	一般道	その他	無

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検時に記録		応急措置後に記録		定期点検者		(株)エルクコンサルtant	
部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日	
上部構造	II	ひびわれ、鉄筋露出	写真1,アーチクラウン 写真2,支柱5				
横桁							
床版	I						
下部構造	II	ひびわれ、鉄筋露出	写真3,4 下部I01 写真5,下部I02				
支承部	I						
その他	II	漏水、土砂堆積	写真6,伸縮装置01				

道路橋毎の健全性の診断(判定区分I~IV)

定期点検時に記録	
(判定区分)	(所見等)
II	アーチクラウン部にひびわれ、支柱に複数の鉄筋露出が見られる。下部工に鉄筋露出、伸縮部に漏水が見られる。構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)


架設年次	橋長	幅員
1993年	104m	8.75m
橋梁形式	RCアーチ橋,橋台2基(形式不明)	





起点側

終点側

別紙2 様式1 様式2
 状況写真(損傷状況)
 ○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。
 ○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

<p>上部構造(アーチクラウン)【判定区分: Ⅱ】</p> <p>写真1</p>  <p>アーチクラウン</p>	<p>上部構造(支柱5)【判定区分: Ⅱ】</p> <p>写真2</p>  <p>支柱5</p>
<p>下部構造(橋台)【判定区分: Ⅱ】</p> <p>写真3</p>  <p>下部工01</p>	<p>下部構造(橋台)【判定区分: Ⅱ】</p> <p>写真4</p>  <p>下部工01</p>

別紙2 様式1 様式2
 状況写真(損傷状況)
 ○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。
 ○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

<p>下部構造(橋台)【判定区分: Ⅱ】</p> <p>写真5</p>  <p>下部工.02</p> <p>【判定区分: Ⅱ】</p>	<p>写真6</p>  <p>その他【判定区分: Ⅱ】</p> <p>伸縮装置01</p> <p>【判定区分: Ⅱ】</p>
<p>【判定区分: Ⅱ】</p>	

別紙2 様式1様式2
橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	34° 37' 37"	橋梁ID
森脇橋 (フリガナ)モリワキバシ	若井・光ヶ丘路線	生駒郡平群町吉新一丁目		経度	135° 42' 06"	34.62694,135.70167
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
奈良県生駒郡平群町 都市建設課	2021.08.30	河川	有	一般道	その他	

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)				定期点検者	(株)エルクコンサルtant	
定期点検時に記録						
部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	I					
主桁						
横桁	II	腐食	写真1,横桁02			
床版	II	遊離石灰	写真2,床板05			
下部構造	II	ひびわれ	写真3,下部工01			
支承部	I					
その他	I					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分I~IV)
定期点検時に記録
(判定区分)(所見等) 前回点検から一部補修が行われている。横桁に軽微な腐食、床板に遊離石灰、下部工に鉛直方向のひびわれが見られる。
II 構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)		
架設年次	橋長	幅員
1981年	35.1 m	10.2 m
橋梁形式		
鋼落接橋I桁(不明),橋台2基(形式不明)		




起点側


終点側

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

別紙2 様式1 様式2
 状況写真(損傷状況)
 ○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。
 ○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。






<p>上部構造(横桁) 【判定区分: Ⅱ】</p> <p>写真1</p>  <p>横桁02</p>	<p>上部構造(床板) 【判定区分: Ⅱ】</p> <p>写真2</p>  <p>床板05</p>
<p>下部構造(橋台) 【判定区分: Ⅱ】</p> <p>写真3</p>  <p>下部工01</p>	<p>【判定区分: Ⅱ】</p> <p>写真4</p>

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	橋梁ID	
西梨本橋 (フリガナ) ニシナシモトハシ	東梨本19号線	生駒郡平群町大字梨本		34° 38' 04.31" 135° 41' 51.28"	34.63453,135.69758	
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	占用物件(名称)	
平群町	2021.08.30	河川(竜田川)	無	一般道	水道:2条 NTT その他	
部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)						
定期点検時に記録						
部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	II	遊離石灰	写真1,主桁01			
	I					
	II	遊離石灰	写真2,床板01			
下部構造	I					
支承部	I					
その他	II	路面の凹凸	写真3,4 路面01			
道路橋毎の健全性の診断(判定区分I~IV)						
定期点検時に記録						
(判定区分)	(所見等)	主桁、床板に遊離石灰が見られる。路面に凹凸(45mm)が見られる。 構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。				
II						
全景写真(起点側、終点側を記載すること)						
架設年次	橋長	幅員				
1997年	32.0 m	6.20m				
橋梁形式						
単純PCT桁橋,逆T式橋台2基						
						
			起点側	終点側		

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

別紙2 様式1 様式2
 状況写真(損傷状況)
 ○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。
 ○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

<p>上部構造(主桁)【判定区分: Ⅱ】</p> <p>写真1</p>  <p>主桁01</p> <p>その他【判定区分: Ⅱ】</p> <p>写真3</p>  <p>路面01</p>	<p>上部構造(床板)【判定区分: Ⅱ】</p> <p>写真2</p>  <p>床板01</p>
<p>その他【判定区分: Ⅱ】</p> <p>写真4</p>  <p>路面01</p>	<p>その他【判定区分: Ⅱ】</p> <p>写真3</p>  <p>路面01</p>

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	34° 38' 04.31" 135° 40' 48.92"	橋梁ID
薬師橋 (フリガナ) ヤクシバシ	西信貴畑265号線	生駒郡平群町大字信貴畑				34.63453,135.68026
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
平群町	2021.08.24	一般道路	無	一般道	その他	無

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検時に記録		応急措置後に記録		定期点検者		(株)エルクコンサルtant	
部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日	
上部構造	I						
主桁	I						
横桁							
床版	II	漏水・遊離石灰	写真1,床板06				
下部構造	II	ひびわれ	写真2,下部工01				
支承部	I						
その他	II	漏水跡	写真3,伸縮装置01				

道路橋毎の健全性の診断(判定区分I~IV)

定期点検時に記録	
(判定区分)	(所見等)
II	床板間詰部に遊離石灰、下部工にひびわれが見られる。 構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)


架設年次	橋長	幅員
2001年	17.0 m	5.20m
橋梁形式		
PCプレテン中空床版橋,逆T式橋台(2基)		




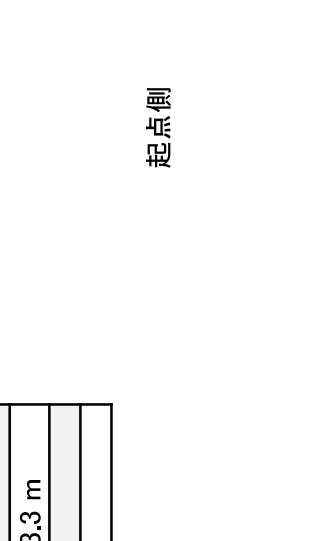
起点側

終点側

別紙2 様式1 様式2
 状況写真(損傷状況)
 ○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。
 ○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。



<p>上部構造(床板)【判定区分: Ⅱ】</p> <p>写真1</p>  <p>6 二01 装置01</p>	<p>下部構造(橋台)【判定区分: Ⅱ】</p> <p>写真2</p> 
<p>主桁01</p>	<p>下部工01</p>
<p>その他【判定区分: Ⅱ】</p> <p>写真3</p>  <p>伸縮装置01</p>	<p>伸縮装置01</p>

橋梁名・所在地・管理者名等



橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	橋梁ID	
菊美台3号橋 (フリガナ)キクミダイサンゴウキョウ	北菊美台260号線	生駒郡平群町大字菊美台1丁目		34° 38' 40.73" 135° 45' 41.80"	34.64465,135.76161	
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	
平群町	2021.08.24	無	有	一般道	その他	
定期点検時に記録						
部材単位の診断 (各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)						
定期点検時に記録						
部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	II	鉄筋露出	写真1,主桁01(7径間)			
	I					
	I					
下部構造	I					
支承部	I					
その他	II	漏水	写真2,伸縮装置02(3径間)			
道路橋毎の健全性の診断(判定区分I~IV)						
定期点検時に記録						
(判定区分)	(所見等)	主桁に鉄筋露出、P3橋脚に伸縮部からの漏水が見られる。				
II		構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。				
全景写真(起点側、終点側を記載すること)						
架設年次	橋長	幅員				
1995年	57.0 m	3.3 m				
橋梁形式						
RC床版橋,逆T式橋台,壁式橋脚						
						
						

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

別紙2 様式1 様式2
 状況写真(損傷状況)
 ○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。
 ○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

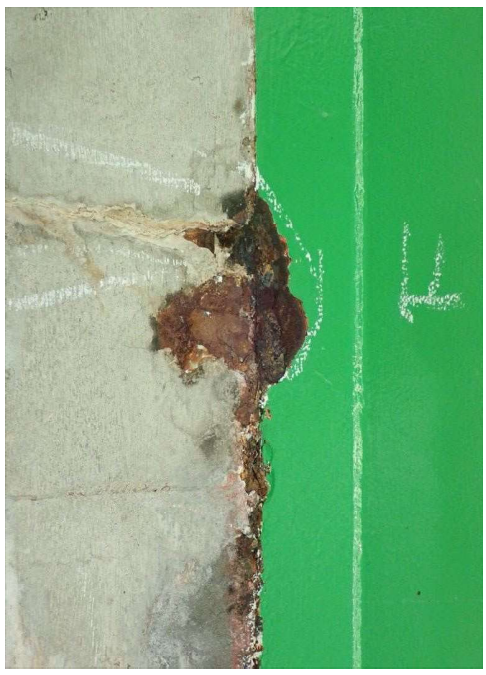
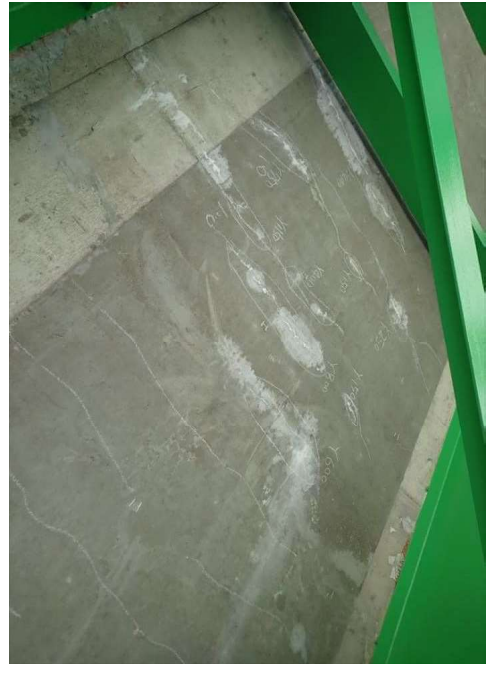
<p>上部構造(主桁)【判定区分: Ⅱ】</p> <p>写真1</p>  <p>主桁01(7径間)</p> <p>【判定区分:</p>	<p>写真2</p>  <p>伸縮装置02(3径間)</p> <p>【判定区分:</p>
<p>その他【判定区分: Ⅱ】</p>	

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	橋梁ID	
若葉大橋 (フリガナ)ワカバオオハシ	中央北循環路線	生駒郡平群町若葉台二丁目		34° 38' 24.30" 135° 41' 33.95"	34.64008,135.69276	
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	占用物件(名称)	
平群町	2021.08.27	河川(大釜川)	有	一般道	水道:1条 ガス:2条	
部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)						
定期点検時に記録						
部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場 合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	I	腐食	写真1,主桁01(2径間)			
	I					
	II	鉄筋露出 遊離石灰、床板ひびわれ	写真2,床板02(1径間) 写真3,床板03(2径間)			
下部構造	II	ひびわれ	写真4,下部工02			
支承部	I					
その他	I					
道路橋毎の健全性の診断(判定区分I~IV)						
定期点検時に記録						
(判定区分)	(所見等)	前回点検から一部補修が行われている。床板に鉄筋露出、遊離石灰を伴うひびわれが複数見られ、進行が懸念される。 構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。				
II						
全景写真(起点側、終点側を記載すること)						
架設年次	橋長	幅員				
1979年	50.0 m	8.51m				
橋梁形式						
3径間連続鋼溶接桁(不明)橋台2基(形式不明)パイラント橋脚						
						
						

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

別紙2 様式1様式2
 状況写真(損傷状況)
 ○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。
 ○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

<p>上部構造(主桁)【判定区分: Ⅱ】</p> <p>写真1</p> 	<p>上部構造(床板)【判定区分: Ⅱ】</p> <p>写真2</p> 
<p>主桁01(2径間)</p> <p>上部構造(床板)【判定区分: Ⅱ】</p> <p>写真3</p> 	<p>下部構造(橋台)【判定区分: Ⅱ】</p> <p>写真4</p> 
<p>床板03(2径間)</p> <p>下部工02(3径間)</p>	

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	34° 38' 33.94" 135° 41' 50.20"	橋梁ID
新橋木大橋 (フリガナ) シンツバキオオハシ	中央北循環路線	生駒郡平群町大字榎原・横原境				34.64276,135.69728
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
平群町	2021.12.13	河川(榎原川)	有	一般道	その他	ガス:2条 水道:2条

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検時に記録		応急措置後に記録		定期点検者		(株)エルクコンサルtant	
部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場 合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日	
上部構造	I						
	I						
	I						
下部構造	II	滞水	写真1,下部工02				
支承部	I						
その他	I						

道路橋毎の健全性の診断(判定区分I~IV)

定期点検時に記録	
(判定区分)	(所見等)
I	前回点検から補修が行われている。下部工に滞水が見られるが、伸縮装置交換直後の点検であるため乾燥していないと考えられる。経過観察でよいと考える。構造物の機能に支障が生じていない状態。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1971年	32.0 m	11.83m
橋梁形式		
鋼溶接橋+型桁(不明)橋台2基(形式不明)		

起点側




終点側

別紙2 様式1様式2
 状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。
 ○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

様式2

写真1 下部構造(橋台)【判定区分: Ⅱ】	 下部工02	写真2 【判定区分: 】
【判定区分: 】	【判定区分: 】	【判定区分: 】